

# 原価計算のシステム化 (脱Excelについて)

---



## 原価計算

- ・ 今月、製造した製品はいくらでできたのか
- ・ 製品別の損益はいくらか

原価・業績管理の  
ベース情報

しくみ構築  
検討

- ・ 自分でできる（できそうだ）
- ・ 自由度が高い
- ・ 新たな外部流出費用が発生しない

Excelでつくる

### データ入力が必要

- ・ 不効率
- ・ 間違いが発生する恐れ

運用していく  
うちに

- ・ シートが増える
- ・ ファイルが増える (毎月の結果が別ファイルになる)

その結果

### データ参照、式が複雑化する ファイル管理が必要になる

- ・ セキュリティ上の問題が発生する可能性あり
- ・ ファイル破損の恐れ

(計算式、関数レベルでやってきたことを)

### 効率化する

- ・ マクロを使用する
- ・ VBA (Visual Basic for Applications) を使用する

結果として

(自由度が高く、自分でできるがゆえに)

### 自分しかわからないしくみになっていく

- ・ 他者からみてわかりにくい (わからない) しくみ
- ・ 引継ぎ困難なしくみ

属人化

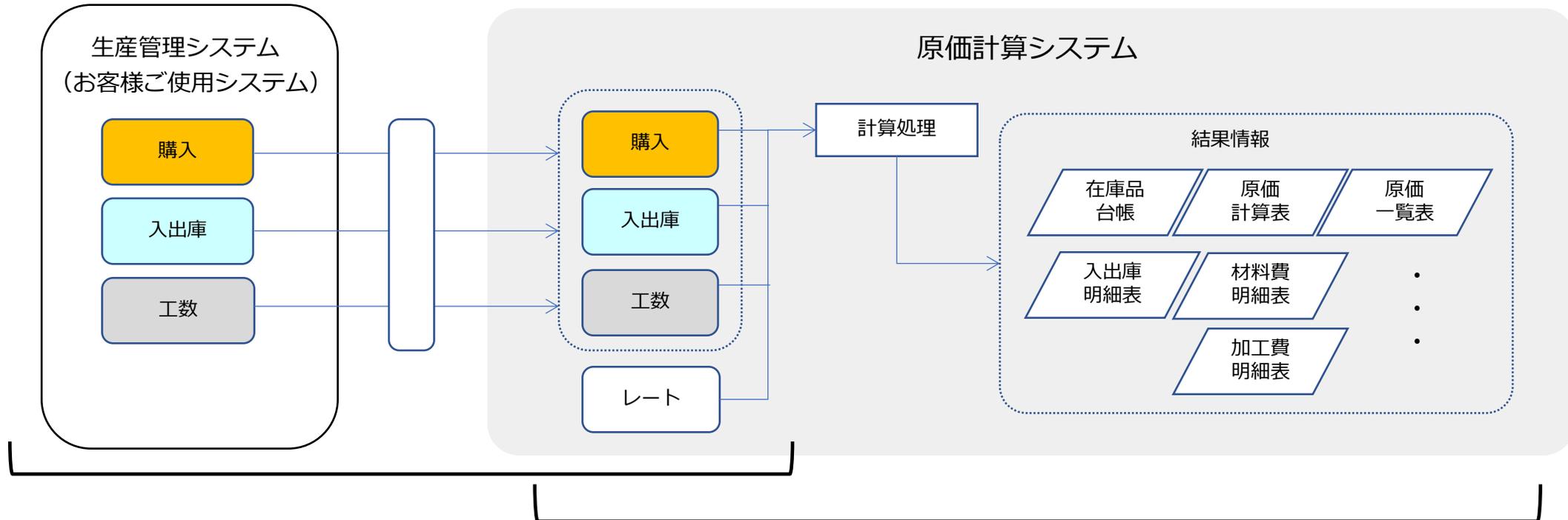
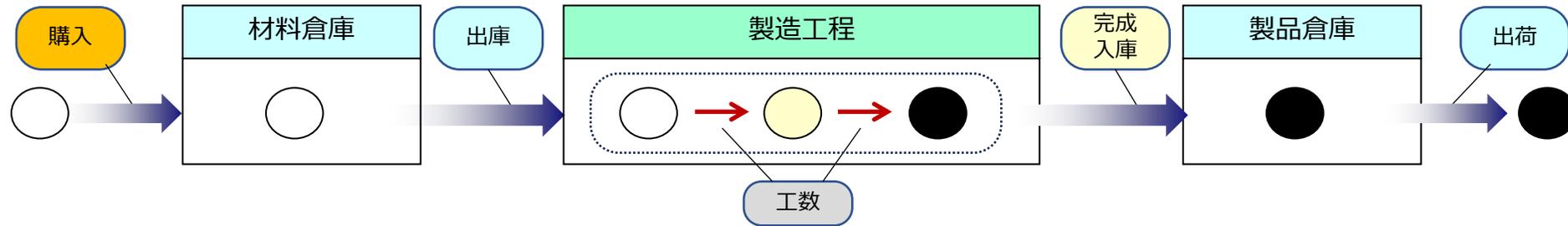
- 列、行の挿入で式が崩れる（調査、修正に時間がかかる）
- 計算に時間がかかる
- ファイルを開くだけで時間がかかる
- 見づらい
- 情報共有がしづらい
- 計算の方法が簡易型になる
- 必要以上に複雑になる
- 間違いがあってもわからない

原価計算の結果情報は、

- 財務会計に使われる
- 経営判断に使われる

このままで  
いいのだろうか？！

# 原価計算システムとは



原始データと原価計算システムインプット・アウトプットデータが一致している (検証できる)

## 原価計算システムに求められる機能

- ・ 原始データが原価計算システム（データベース）のなかにある
- ・ 計算結果の明細が参照できる  
例：製品Aの材料費の集計値から明細データへのドリルダウン
- ・ 計算プロセスの透明性が高い（特に、加工費、間接費）
- ・ 計算の結果情報が活用しやすい  
例：製品Aの売上・損益の過去3年の推移を瞬時に表示

Excelで構築したしくみで  
これらの機能要件を満たすのは不可能

以上のことから  
原価計算システムをExcelで構築するのは**不適切**である

対外的にも

- ・ 監査法人から指摘される場合がある
- ・ 税務調査における混乱の可能性もある

- ・ 原価計算のしくみは、担当している個人のものではない。
- ・ 担当者がかわっても、あるいは上流システムがかわっても継続して使用しつづけられるものとして構築すべきである。

原価計算専門のパッケージソフトをご評価ください！

- ・コンセプト（考え方、狙い）
- ・機能（何ができるか、できないか）
- ・導入検討支援（教育サービス、評価版の提供）
- ・進め方 など

お客様とベンダーがお互いに理解し合う  
(ベンダーからお客様への適切なアドバイスがある)

【本件に関するお問い合わせは下記まで】

**ソフトウェア株式会社**

〒464-0075 名古屋市千種区内山三丁目18番10号 千種ステーションビル802号室

Tel : 052-439-6758 Fax : 052-439-6759